

令和4年度

中学校ブロック毎 ジョイントプラン 構想図



宇治市教育の日シンボルキャラクター：ハチャ君

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 宇治中学校ブロック | 6 南宇治中学校ブロック |
| 2 北宇治中学校ブロック | 7 広野中学校ブロック |
| 3 槇島中学校ブロック | 8 東宇治中学校ブロック |
| 4 西小倉中学校ブロック | 9 木幡中学校ブロック |
| 5 西宇治中学校ブロック | 10 黄檗中学校ブロック（施設一体型） |

令和4年4月

宇治市教育委員会

令和4年度 宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図
ー宇治中・菟道小・菟道第二小ー

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざす児童生徒像

ア とともに学び、考える児童生徒

イ たくましく生きる児童生徒

ウ 笑顔を大切にする児童生徒

本年度の目標・推進の方向性（重点）

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善に取り組み、児童生徒の更なる学力向上に努める。
- (2) 人権教育部において、菟道小学校での同和問題に係る直接学習の参観等を通して、教職員の人権意識を高めることで、児童生徒の人権意識を向上させる。
- (3) 小学生が中学校の部活動を体験できる取組を継続していく。
- (4) 宇治中学校ブロックの全教職員が、各教科部の取組の進捗状況を共通理解するため、合同研修会終了の度に「合同研修会のまとめ」を発行し、職員会議等で各部からの報告を行う。
- (5) 保護者・地域へのより一層の啓発を図るため、小中一貫教育の取組について報道連絡をしたりホームページや学校だよりで紹介したりする。
- (6) 「中学校入学時の定期テスト等に対する児童の不安」の軽減に向けた取組を推進する。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

・授業づくり部（国語・算数等）の9つの教科部会において、やましろ授業スタンダードを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を小・中学校教員が協働して進める。

☆生徒指導の充実に関わって

・各校児童生徒の様子の交流については、必要に応じてコーディネーター間で調整し、実施する。

☆特色ある教育活動の展開に関わって

・これまで行ってきた交流活動（クラブフェスティバル、駅伝合同練習、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習）の内容を精査しながら、各校コーディネーター間で調整し、実施していく。

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・小中一貫教育校だより（FUTT）や学校だより、ホームページ等を積極的に活用しながら小中一貫の取組を紹介する。
- ・児童生徒が主体的に家庭学習に取り組める環境の構築に向けた取組を進める。
- ・中学校教員が6年生児童に対して、中学校の「定期テスト」に対してどのように学習すればよいかを話をしたりする機会を設ける。
- ・義務教育9年間を見通した家庭学習の手引きを作成し、配布する。

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・小中一貫教育推進に係る企画と立案を行い、小中学校と協力して学習計画の円滑化と管理調整を行う。

教育目標・めざす子ども像

教育目標「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」

（目指す子ども像）・自ら考え、自発的に表現できる子（知）

・人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子（徳）

・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）

本年度の目標・推進の方向性（重点）

（１）小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。

・学力向上のための方策を研究する（小中一貫の視点から、具体的方策を探り実践していく）

（２）学力部を中心に、小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。

（３）保護者や地域住民などに、積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信する。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

◎9年間を見通した学習指導を研究

①学力部係会

・学力分析、家庭学習係、授業改善係、
道徳、総学係、外国語（英語）係、特
支・教相係、児童・生徒支援係

☆生徒指導の充実に関わって

（特支・教相係）（児童・生徒支援係）

・対象児童・生徒に対する有効な方策やアプローチ
方法を示していく。

・小学校、中学校それぞれの児童・生徒の実態交流
をより細かく行い、一貫して連携を図っていく。

☆特色ある教育活動の展開に関わって

①学力部各係会による多様な観点からの学
力向上への取組

②学力の実態把握と分析

③授業参観による各校の実態把握

④児童・生徒の交流

⑤職場体験実施による小中の交流

☆家庭・地域との連携に関わって

①小中一貫教育ニュースの発行

・原則、学期に1回程度発行し、活動内容を保護
者・地域に紹介

②家庭学習の取組

・※「家庭学習の手引き」などを活用し、保護者や
地域の協力を得ながら、家庭学習の定着を図る。
（※各校、HPに記載）

・宿題や家庭学習ノートなどを配布し、自学自習を
促し、適切な評価につなげる。

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

・各係会における交流を中心として、小中一貫教育を推進し「学力の向上」につなげていく。

・コーディネーター会議を必要に応じて開き、調整する。

・学力部会に小中の全教員が所属する。

・学力部各係会で各校1名の代表者を決め、中心となって部会運営を行う。

ブロック小中一貫教育目標

「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」

めざす子ども像

- 心身共に健康で、明るく活動する子
- 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子

本年度の目標・推進の方向性（重点）

【榎島中学校ブロック研究テーマ】

「榎島中学校ブロックの児童・生徒たちにとって魅力的な授業を目指した授業改善を行い、基礎・基本の徹底を目指して、学力向上に取り組む」

【推進の概要】

榎島中ブロックの児童・生徒にとって魅力的な授業とは何かを、ブロック全体で追究しながら、授業改善のために各校の実践交流を通して、児童・生徒の学力向上に努める。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・山城スタンダードを基本とし、家庭学習と授業、ふり返りを効果的に繋ぐ授業スタイルを作成し、実践する。
- ・グループ内の教員で相互に授業参観を行い、授業改善について協議を行う。
- ・国語部会を中心に、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を推進していく。

☆生徒指導の充実に関わって

- ・特別活動部会を中心に、中学校体験や服のチカラプロジェクトなどの行事を通して、児童・生徒の繋がり作りや居場所作りをすすめる。
- ・小中の接続をスムーズに行えるよう、教科連携教員(英語)やラーニングコーディネーターが、小学校の授業に関わる。
- ・生徒指導部会を中心に、児童・生徒理解を進めるため、緊密な連携を図る。

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・中学校ブロックの児童・生徒の代表絵画作品を3校および地域にも巡回展示する。
- ・ブロックの小中学校の生徒会・児童会を中心に、ユニクロの古着回収の活動を行う。
- ・zoom や動画等を使用し、コロナ禍であっても、連携できるような方策を考えていく。

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・小中一貫教育便り「マキシマム」の継続発行(保護者配布・地域回覧)やHPへの掲載、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育の取組や研究を積極的に情報発信する。
- ・学校・地域行事で、児童・生徒が共に活動したり、交流したりする場面や小中一貫教育の成果を発揮する場面を設定する。

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- 小中一貫教育の取り組みや各部の研究実践を推進する。
- ブロック校長会、教頭会、コーディネーター会議を定期的に行い、ブロックの課題解決に努める。
- OLCによる週一回の各校視察を通して、ブロックの生徒理解に努め、目指すべき学力観を共有する。

ジョイントプランの構想図

本年度の取組

教育目標

めざす子ども像

小中9年間を通して地域と共に子どもたちのゆたかな心と確かな学力をはぐくむ

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子



本年度の目標・推進の方向性(重点)

【目標】

学力充実・向上において、C層D層の児童生徒の学習意欲を高める。教員の指導力を向上させる。

【推進の概要】

- ①教員の研究・研修を充実させるための取組
- ②家庭学習充実の取組とその発信
- ③各校の校務分掌を生かした協力体制



推進組織

- 推進会議の実施、取組内容確認、協議
- 各校校長、教頭が部会に所属し、各担当コーディネータを中心とした課題の解決に向けた取組の推進

学力充実・向上

- 自主学習への取組と改善
- 学力実態・分析、家庭学習の充実に向けた取組の点検と実践
- 合同授業研に向けての調整

教職員研修

- 合同研修会
 - ・夏季合同研修会(学力分析等)
 - ・合同授業研究会後の事後研
- 合同授業研究会
 - ・西小倉中(ICT活用)

児童・生徒交流

- 募金活動
- あいさつ運動
- 地域の行事に中学生が参加
- 児童生徒交流における小中連携

家庭・地域との連携

- 家庭学習アンケートを実施
- 「小中一貫教育推進ニュース」の発行、またHPによる取組の発信
- 各校の「一貫教育コーナー」(掲示板)を充実

小中スムーズな接続のために

- 小学校高学年における教科担任制授業を推進
- 西小倉中学校体験入学
 - ・6年生の中学校生活体験(授業・部活動体験)
- 小中連絡会(7月・3月)
- LCによる出前講座

令和4年度 西宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図

ー西宇治中・伊勢田小・神明小ー

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標 N・I・S目標

「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざす子ども像

- 知「展望する力」：・深く考え、よく聴き、意欲的に表現する子
- 徳「つながる力」：・温かい心で助け合う子、節度をもった礼儀ある子、違いを認め合える子
- 体「挑戦する力」：・ねばり強く諦めない子、基本的な生活習慣や健康を配慮できる子

本年度の目標・推進の方向性（重点）

主体的・対話的で深い学び、及び進路を見据えた学力向上の取組

- (1) 「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた合同研修会及び各教科部会の充実と発展、公開授業研究会の実施
- (2) 領域3部会機能の活性化
- (3) 小小連携の充実（中学校進学に向け、共通組織による実態改善）
- (4) 相互連携授業の充実

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・ブロック合同研修会（年回3回）
- ・宇治学の副読本の活用
- ・9年間の学習指導の見える化

☆生徒指導の充実に関わって

- ・生徒指導部会の実施（年回3回）
- ・小中連絡会の実施
- ・家庭学習の充実
- 「学習の手引き」の活用を通して

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・部活動の交流（駅伝合同練習）
- ・中学体験入学の実施
- ・朝の挨拶運動（毎学期）
- ・入学生対象学習説明会（中学校教員による6年生への出前説明会）

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・広報紙発行
- ・小中一貫教育啓発掲示板の活用
- ・各校HP上の工夫
- ・各地域行事の参加

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・構築した体制を活用した学力向上への取組
- ・小中教育推進に係る中学校ブロック各校内の連絡・調整
- ・小中一貫教育の取組の広報

令和4年度 南宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図
ー南宇治中・平盛小・西大久保小ー

教育目標・めざす子ども像

「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」

本年度の目標・推進の方向性（重点）

「主体的に学び・活動できる児童・生徒の育成 ～三校のつながりを意識して～」

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・家庭学習の手引きの作成
(次年度配付をめざして)
- ・ノート指導についての共通理解（中学校卒業までにつけたい力）

☆生徒指導の充実に関わって

- ・清掃ボランティア
- ・児童会、生徒会交流
- ・あいさつ運動
- ・部活動体験

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・学習に参加しやすい支援の共通理解
- ・同じ目標に向かった掲示物の作成

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・清掃ボランティアやあいさつ運動への保護者・地域の連携
- ・学校だよりや学校HPでの広報

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・毎月のコーディネーター会の開催（コーディネーター会場を3校持ち回りにし、コーディネーター3人での授業参観）

令和4年度 広野中学校ブロックジョイントプラン 構想図
ー広野中・大久保小・大開小ー

教育目標・めざす子ども像

<教育目標>

夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成

<9年間で育てたい力（めざす児童生徒像）>

自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力

健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めている力

本年度の目標・推進の方向性（重点）

- ・児童・生徒の語彙力を増やすといった基礎学力（認知能力）定着のための補充学習に加え、課題解決型学習の手法や授業改善を通して言葉の活用場面の設定などから積極性（非認知能力）の育成を目指す。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

《基礎学力の定着》

- ・総会の実施による小中一貫教育の取組周知
- ・小小連携の計画及び実施（授業研の交流と授での交流）
- ・3校での夏季合同研修の実施
- ・中学校定期テスト不安軽減の取組
（中学校定期テストに合わせた家庭学習）

☆生徒指導の充実に関わって

《学びの環境づくり》

- ・3校の生徒指導の交流（6月・11月・1月）
（問題事象の交流や傾向の分析など）
- ・少年補導地域懇談会での状況交流
- ・長期休業中の生活のきまりについて交流

☆特色ある教育活動の展開に関わって

《学びに向かう力の涵養》

- ・「宇治学」の充実
- ・HOT-MEETING（3校合同児童生徒会）の実施
（年3回程度）
- ・福島ひまわりプロジェクトの実施
- ・小6の中学校体験学習での小小交流事業
- ・中学1年生による小学校1年生への紙芝居読み聞かせ

☆家庭・地域との連携に関わって

《学びの場の拡大》

- ・H00P（宇治ひろの学園小中一貫教育だより）の保護者への配付
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・3校巡回作品展示の保護者向け公開
- ・小6の中学校体験学習の保護者参観

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・ブロック校長会議（学校運営部会）の実施及び教頭部会の開催
- ・コーディネーター会議（事務局部会）の定期的な実施（月1回以上）
- ・学園児童生徒の学力充実を目指し、各部会の組織的な活動の実施

教育目標

「命を輝かす人間」

めざす児童・生徒像

「自ら学び学習する児童・生徒」

「思いやりのある児童・生徒」

「たくましく生きる児童・生徒」

「健康や安全を考える児童・生徒」

本年度の目標・推進の方向性(重点)

- 小中一貫教育実施6年間の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、小中一貫教育の基本である「義務教育9年間で、将来にわたって生きて働く学力や生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する」という視点で、日々の指導の充実を図りながら、取組の点検・評価・改善を進める。
- ブロック校長会議やコーディネーター会議を定期的に開催し、小中一貫教育の方向性を全体に示しながら、具体的な取組を推進する。ラーニングコーディネーターはその調整役を果たし、ブロック児童生徒の学力充実・向上の様々な取組を推進する。
- 本ブロックの児童生徒の実態や教育の方向性・動向を踏まえた取組の工夫・改善を積極的に進める。その取組の一つとして、宇治市の「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」の指標について、ブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」の充実と関連させた具体的な取組を推進する。

本年度の取組

教職員研修

- 小中合同研修会(8/23・11/16)
- 小中合同研究授業(11/16 会場:東宇治中)
- 相互授業参観
 - ・小学校から中学校授業参観(11/16)
 - ・中学校から小学校授業参観(6/21)
- 教職員広報の発行
- 4校学校便りを教職員へ配布
- 3小合同研修会+合同学年会(8/23)
- 中学1年ふりスタへの小学校教員支援
- 東宇治中ブロック児童生徒の学力分析

児童・生徒交流

- 小学6年生の中学校体験入学(11/9)
- 中学2年生の小学校での職場体験(2学期)
- 児童会・生徒会協同の取組
- 中学生の美術作品巡回展示(2学期)
- 花植ボランティアによるプランター贈呈
- 地域行事での交流

家庭・地域との連携

- 小中一貫教育便りの発行
- 「家庭学習の手引き」の配布
- 小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置
- 地域行事への積極的参画

小中スムーズな接続のために

- スクールライフサポートブック配布(小学6年)
- 先スタ(中学入学前の学習)の配付(小学6年)
- 小学6年生の中学校体験入学(11/9)
- 小中連携教員による外国語活動指導(小学6年)
- 東宇治中入学保護者説明会(11/25)
- 小中連絡会(5/23・12月・2月)
- 中学校学校便りを小学6年生に配布
- 授業スタンダードの積極的活用
- 定期テスト対策(小学6年)

学力の充実・向上

児童生徒に「主体的・協働的に学ぶ力」を高め、生きて働く学力、生きる力を身に付けるために

- 授業充実のための相互授業参観・合同研究授業(ことばの力・国語力の向上)・授業スタンダードの活用
- 中1京都府学力診断テストを中心とした学力分析を小・中学校の授業改善に活用(本年は未定)
- ふりスタ・先スタ・定期テスト対策(小6)による小中の接続強化
- 家庭学習の手引き・スクールライフサポートブックによる家庭学習習慣・生活習慣の確立
- 各校のアクションプランと連動させた学力の充実・向上の取組の展開

☆「児童生徒学力充実推進部会」を各校の小中一貫教育コーディネーターと学力向上推進委員で組織し、ブロック児童生徒の学力充実・向上に向けたブロックの取組を展開する。ラーニングコーディネーターはその中心となり取組を推進する。

教育目標・めざす子ども像

教育目標 故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒

めざす子ども像

- ①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知）
- ②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳）
- ③健やかな心と体をもった児童・生徒（体）
- ④ちがいを認め、命を大切にする児童・生徒（人権）
- ⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にする児童・生徒（地域）



本年度の目標・推進の方向性（重点）

目標】

- ・学力向上のための主体的、対話的な授業づくりに結びつく実践的な内容の研修を木幡中ブロック全体で行う。

【推進の方向性（重点）】

- ・3回の小中合同研修会での教科部会と連絡会を通して小中の系統的、継続的な連携を深める。
- ・特別支援教育の視点を生かした生徒指導の研修を継続して行う。
- ・各校のホームページを活用し、児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動を進める。



中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・主体的で対話的な深い学びのある授業づくり
- ・中学校英語教員による小学校でのTT授業
- ・各校の読書活動の交流
- ・小学校卒業時に「春休みの課題」を配付
- ・小学校・中学校で「家庭学習の手引き」の配付

☆生徒指導の充実に関わって

- ・小中合同研修会の連絡会（学力充実いしずえ、児童生徒理解、健康安全）を通して児童生徒の共通理解
- ・小中学校における特別支援教育の視点を大切するため、講演の実施

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・全教職員が8つの教科部会と3つの連絡会に所属し課題の研究
- ・小学6年生の半日体験入学
- ・へき地校を含んだ小小連携の取組
- ・吹奏楽部による小学校での発表会

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・おもろいやんか木幡への参加。
- ・ホームページに小中一貫教育の取組をアップすることによる取組の啓発
- ・各校の学校だよりの校内掲示
- ・新入生保護者説明会の実施
- ・小学校の懇談会で、「中学校における進路指導」の説明会を実施

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・ラーニングコーディネーターを中心に、「やましろ授業スタンダード」や「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を活用した、主体的、対話的な授業づくりを木幡中ブロック全体で取り組み学力向上を図る。年間3回の小中合同研修会を通して、小中学校の系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実に図る。
- ・ラーニングコーディネーターが各小学校を定期的に訪問し、交流活動を行う。
- ・各学校のコーディネーター間での連携を密にとり、各校の状況を共有する。

令和4年度 宇治黄檗学園ブロックジョイントプラン 構想図

－黄檗中・宇治小－

教育目標・めざす子ども像

たかく すずしく たくましく

- ① 高い志を持って、学びの道を究める人(確かな学力)
- ② さわやかな心、優しい心を持った人(豊かな人間性・社会性)
- ③ 強い志を持って、人生を切り開く人(意欲や情熱・健康な体)

本年度の目標・推進の方向性（重点）

課題解決型学習を中心とした研究の推進

課題解決型学習を手段とした認知能力と非認知能力の一体的な育成(小)

教科等横断的な課題解決型学習による論理的思考力の育成(中)

中学校ブロックの本年度の取組

(1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

- ・各教科領域の学びをつなげる課題解決型学習の実施
- ・9年間の継続的な生徒指導を進めるための小中での課題の共有化
- ・児童生徒が意欲を持って取り組める家庭学習の実施

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

- ・共に学び、活動できる児童生徒育成を目指して、異年齢集団活動の実施

(3) 家庭や地域との連携

- ・宇治小学校創立 150 周年・黄檗中学校創立 10 周年記念事業を年間通して実施する中での地域とともにある学校づくりの推進
- ・計画的な学校運営協議会開催による小中一貫教育の状況確認
- ・ホームページ等を活用した、学園全体の取組の積極的な広報活動
- ・各教科、クラブ活動等における学校ボランティアの活用

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実

- ・小中連絡会の開催、小中の現状把握、相互理解
- ・表現力、データ活用能力の育成。学力分析の方法
- ・「絆の作り手育成プログラム」についての研修の実施

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・小中一貫教育推進に係る企画・立案
- ・保護者・地域との連携
- ・小中一貫教育推進に係る校内の連絡・調整